ACANTHUS NEWS

平成16年 2004.9
月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第93号

TOP NEWS

本学2件目「21世紀COEプログラム」が採択

会見に臨む，左から狩野方伸教授，東田教授，大村理事，大井 学教授
＝事務局大会議室

本学が，平成16年度「21世紀COEプログラム」に申請していた2件のうち1件が採択され，研究・国際担当の大村明雄理事，拠点リーダーの東田陽博医学系研究科教授等が7月21日，記者会見で公表した。

採択された拠点プログラムは，医学系研究科脳医科学専攻を中核とする12名の事業担当研究者で構成する「発達・学習・記憶と障害の革新脳科学の創成」で，生命科学，自然科学，人文社会科学を超えた文理架橋型の世界的な革新脳研究領域を創設 し，脳を育む科学の創成と研究者の育成を目指すもの。16年度の交付決定額は101,000千円。

本学では，平成14年度の「環日本海域の環境計測と長期・短期変動予測」（拠点リーダー：早川和一自然科学研究科教授）に次ぐ2件目の採択。

上野・科博で21世紀COEプログラム「環日本海」展

21世紀COEプログラム「環日本海域の環境計測と長期・短期変動予測」は，同プログラムの研究成果をわかりやすく紹介した企画展「環日本海 森・海・空のメッセージ」を7月30日から8月8日まで，東京・上野の国立科学博物館で開催した。

8月1日には，拠点リーダーの早川教授による特別講演や，期間中小中学生を対象に「貝化石のクリーニング」，「木の葉のしおり作り」が行われ，夏休み期間中でもあり多数の入場者で賑わった。

化学発光の実験コーナーに集まった入場者＝7月30日

ISSN 1346－0684

巻頭言

学生募集の前線で

理事・副学長
鹿　野　勝　彦

本学では今年度から，高校の進路指導担当教諭との懇談会という試みを始めた。とりあえず，第1回を盆の休みをはさんで北陸3県の5ヶ所（金沢，小松，七尾，富山，福井）で行って一段落したところだ。北陸3県の高校長との懇談会は以前から年1回行われているが，これは規模も大きく（67校88名が参加），なかなか実質的な懇談の場にならない。それなら地区別に分割し，私たちもキャンパスを出て，現場の進路指導担当者とじっくり話をする機会を作ろうということになった。

始めてみて，確かな手ごたえを感じるとともに，今までこんなこともやっていなかったのかと改めて思い知らされたところでもある。「ようやく金沢大学さんも重い腰をあげましたね」というのが，高校側の率直な受け止め方のようだ。これまで，パンフレットやCD-ROMの作成，ホームページの立ち上げ，オープンキャンパスの実施など，様々な試みを精一杯展開してきたつもりなのだが，外から見れば金沢大学の動きはまだまだ鈍い，ということだろう。

日本の18歳人口は1990年代初めの約200万人から，およそ20年の間に約120万人に減少する。一方で，進学率の伸びはほぼ限界に達している。この状況の下，各大学は学生募集にしのぎを削っている。その厳しさは当面，一層強まることが確実だ。ただ私自身は，この懇談の場を入学志願者を確保する手段としてのみ考えているわけではない。むしろ，高校と大学の教育の有機的な結びつきを強化するための第一歩として，活用していきたいと思っている。それが進めば，結果として本学の教育のあり方に対する信頼も高まり，入学志願者数も増加するはずだ。

今後，この懇談会の回数を増やし，開催場所も北陸3県に限定せず，範囲を広げてゆきたいと考えている。教職員の皆さんにも一層のご協力をお願いしたい。

目次

本学2件目「21世紀COEプログラム」が採択 ……1
上野・科博で21世紀COE
　プログラム「環日本海」展 ……1
巻頭言　学生募集の前線で ……2
JSTと共催東京で新技術説明会 ……3
金沢大学フォーラムin大阪 ……3
障害学生への支援を考えるフォーラム ……3
医学部附属病院が新しい診療センターをオープン …4
地域ニーズに応える「地域経済塾」……4
ネットワーク研究会 ……4
革新脳科学の創成へ一歩前進
　－第2回先端研究フォーラム－ ……5
21世紀COEプログラム
　越境環境問題を考えるセミナー開催 ……5
大学等の環境安全を考える ……5
北陸三県高等学校長等との入試懇談会 ……6
法科大学院進学相談会・説明会 ……6
県教委と大学共催で教育課程研究集会 ……6
石川県地域留学生交流推進会議 ……7
日本学術振興会事業説明会 ……7
フォーミュラ研総合８位
　第２回全日本学生フォーミュラ大会 ……7
昨年を940人上回る参加　オープンキャンパス ……8
てくてくテクノロジー ……8
親子で大学見学子ども見学デー・子ども参観日 ……9
大学生がインターンシップ ……9
中学生・高校生も職場体験 ……9
サッカーロボットや振り子時計づくりに歓声 ……10
七尾高生が理学部で海水分析 ……10
海外研修の成果を報告 ……11
タフツ大学夏期英語コースに初めて学生を派遣 …11
附属養護学校村田くんの書が
　ベトナム教育訓練省に ……11
新任部局長・新任監事 ……12
7回目の留学生書道展 ……12
留学生茶器展と課外講座「茶道」発表茶会 ……12
日本の技に挑戦 ……12
やさしい英会話教室 ……12
人命救助の学生を表彰 ……13
学長研究奨励費14件を採択 ……13
金沢医学館時代の貴重図書が寄贈される ……13
ナノプローブテクノロジー賞 ……13
北陸テレコム懇談会表彰 ……13
本学へのお客さま ……14
新任教員説明会 ……14
事務局が優勝・準優勝
　－職員スポーツ大会（ソフトボール）－ ……14
出向中の職員と懇談 ……14
ミニ講演　心をふるわす感動の
　言葉を味わいましょう ……15
ミニ講演　遺伝子の傷と発がん
　－がんは予防できるか？－ ……15
公開講座 ……15
社会教育主事講習 ……15
学校図書館司書教諭講習 ……15
角間の里山で昆虫採集！ ……16
角間の里山に学ぶ ……16
病院で「サマーコンサートin2004」 ……16
編集後記 ……16

トピックス

JSTと共催 東京で新技術説明会

8月5日，独立行政法人科学技術振興機構（JST）との共催で，本学で生まれた研究成果の技術移転を促進する新技術説明会を，東京千代田区のサイエンスプラザで開催した。この説明会は従来JSTが行っていた新技術説明会を，今回単独の大学と初めて開いたもので，本学が所有する技術移転可能な新技術（全て未公開特許）6件を，各研究者から約100社の企業を含めた出席者153名に紹介した。

説明会後の相談会では，出席した企業から技術移転に関する相談が多数寄せられた。

技術移転についての相談会

「大学ってここがinteresting」をテーマとする討論

金沢大学フォーラムin大阪

関西地区の高校生らに本学をPRし，受験生の増加を図ろうと8月9日，大阪駅前の梅田スカイビルで「金沢大学フォーラムin大阪」が開催された。フォーラムでは，鹿野理事の「金沢大学の教育について」，早川教授の「金沢大学の研究COEについて」の2つの講演に続き，鹿野理事ら本学の教員3名と在学生3名がそれぞれの学問像を語り，教育改革への参考となる内容となった。

障害学生への支援を考えるフォーラム

今年度理学部に重度聴覚障害の学生が入学したことを契機に7月2日，「障害学生への支援を考えるフォーラム」が開催され，障害学生支援のための先駆的な取組みを行っている亜細亜大学の栗田充治教授が「情報保障とボランティア」と題して講演。同大の聴覚障害学生への取組みを紹介した。なお，フォーラムでは難聴の参加者のために，金沢市聴力障害者福祉協会から5名のパソコンテーカーが派遣され，講演内容をスクリーン上に打ち出した。

講演する栗田教授（上）
講演内容を順次，打ち出すパソコンテーカー（下）
＝総合教育棟会議室

医学部附属病院が新しい診療センターをオープン

オープンした肝臓センターと炎症性腸疾患センター

医学部附属病院は7月から，内科，外科などの診療科を越えて専門医が集まり治療する「肝臓センター」，「北陸ハートセンター」及び「炎症性腸疾患センター」の3センターをオープンした。肝臓センターは，肝臓疾患の臨床・研究の十分な実績をもとに高度な医療を提供し，国内外の肝臓医療の拠点づくりを目指す。北陸ハートセンターは，心臓疾患の患者や家族に，高度な知識と最先端の医療を提供する。炎症性腸疾患センターは，原因不明の疾患である潰瘍性大腸炎とクローン病患者へ高度な専門的医療を提供し，北陸の拠点を目指す。

附属病院では3センターの開設により，得意分野での高度医療の実績を積み上げ，病院のブランド力を高めたいとしている。

地域ニーズに応える「地域経済塾」

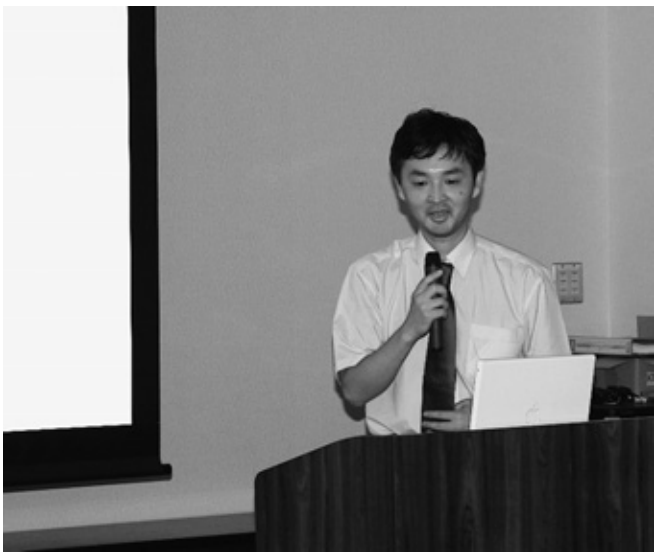
2年目を迎えた経済学部地域経済情報センター主催の「地域経済塾」は，今年度，北陸地域経済学講座に加えビジネススキルアップ講座を新たに開講した。北陸地域経済学講座は，金沢・北陸地域の経済や産業の特質を，歴史的・文化的背景を踏まえながら解明。この地域でビジネスを展開する基盤づくりを図る。スキルアップは3つの講座を用意。ビジネスのさまざまな場面で必要とされるスキルやテクニックの向上をめざすが，それにとどまらず，現代ビジネス科学の理論を学び，未知の問題に直面したときの応用能力を高めるところが，大学提供の講座ならではの特徴となっている。8月に開かれたスキルアップ講座①「革新的問題解決とアイディア発想法」では，タウンウォッチングなどの新しい手法を使って，新商品開発の発想法を実習した。あとひと工夫で実際の商品化も可能なアイディアも出され，受講者の今後のビジネス展開が注目される。

スキルアップ講座①「革新的問題解決とアイディア発想法」
＝8月6日，ITビジネスプラザ武蔵

熱心に質問する参加者
＝総合メディア基盤センタープレゼンテーション室

ネットワーク研究会

8月11日，「IPv6 技術とその活用」をテーマに，総合メディア基盤センター主催の「第1回金沢大学ネットワーク研究会」が開かれた。講師の富士通㈱久保田浩司氏がIPv6（次世代インターネット・プロトコル）の歴史，概要等についての包括的な講演をした後，同センターから本学における IPv6 環境の準備状況について報告があり，終了時間ぎりぎりまで熱心な議論が行われた。



講演する小泉講師
＝総合メディア基盤センタープレゼンテーション室

革新脳科学の創成へ一歩前進
ー第2回先端研究フォーラムー

21世紀に推進すべき重要な研究教育を行う横断的組織「フロンティア科学研究機構」の第2回先端研究フォーラムが7月16日開かれ，同機構の革新脳科学の創成グループのコアメンバーとして，米国イリノイ大学から7月1日付けで学際科学実験センターに着任した小泉恵太講師が「ハエの遺伝子による人の心の研究」について講演した。また，他の教員らによる光トポグラフィーを使った軽度発達障害児や重症心身障害児の脳研究についての講演もあり，集まった60名余の研究者や院生は，新しい脳機能計測による発達障害研究発展への期待を込めて聞き入った。

21世紀COEプログラム　越境環境問題を考えるセミナー開催

環日本海域の越境環境問題への国際的な協力の重要性について話し合う国際セミナーが，7月16，23日，それぞれサテライト・プラザと工学部秀峯会館で開かれた。21世紀COEプログラム「環日本海域の環境計測と長期・短期変動予測」が日本海域研究所，工学部土木建設工学科水工学研究室，いしかわ国際協力研究機構などと共催したもので，海流と気候変動，政治・社会・経済の統合的対応をテーマに研究者が講演した。

開会のあいさつをするいしかわ国際協力研究機構所長
＝7月16日，金沢大学サテライト・プラザ集会室

市民グループが毎年発行している環境マンガ・カレンダーに用いられた原画を展示＝8月22日

大学等の環境安全を考える

8月22日，23日，金沢市内のホテルで，大学等環境安全協議会「第20回技術分科会」が開かれ，全国からの参加者が，国立大学法人化後の大学における環境マネジメント，安全対策などについて議論した。

また，同協議会と本学環境保全センターの共催で，京都大学高月 紘教授（ペンネーム：ハイ・ムーン）による「環境カレンダー原画展」も同時に開催され，市民らに公開した。13枚の原画は，京都発と題し，町屋の暮らしや,古くから生態系が残る深泥池などをイラストとメッセージで紹介した。

北陸三県高等学校長等との入試懇談会

北陸三県の高等学校67校から高校長ら88名が出席して7月22日，入試懇談会が開かれた。林勇二郎学長が，薬学部の6年制移行や3学域構想など最近の本学の取組みを紹介し，続く意見交換会では，鹿野副学長が，学生の4割が転学部，転学科等を考えたことがあることを説明して，3学域構想のねらいを説明した。また，今回新たな取組みとして，8月中旬から下旬にかけて北陸地区5会場で，直接進路指導を担当する教諭と本学学生募集・入学試験委員会委員らとの懇談会を行い，教諭らから生の声を聞く機会をもちたいと述べた。

出席の石川県高等学校協会会長ほか高校長ら＝教育学部402講義室

法科大学院進学相談会・説明会

大学院法務研究科（法科大学院）は，5月29日の東京を皮切りに，8月までに名古屋，神戸，金沢の各地で計7回の合同進学相談会や説明会を実施し，各会場ともに多数の参加者からの積極的な相談が寄せられた。

また，7月30日には平成17年度学生募集要項が発表され，9月16日に出願が締め切られた。

本学法科大学院のブース
＝5月29日，東京会場

県教委と大学共催で教育課程研究集会

石川県教育委員会と教育学部の共催による教育課程研究集会が，8月11日と12日の両日，教育学部を会場に開催された。県内の小・中及び盲・ろう・養護学校の教員，教育委員会の担当者，教育学部の教員及び学生等，2日間で約750名が参加した。当日は13の部会と分科会に分かれて，教育現場からの研究発表と情報交換，教育委員会からの教育課程の説明等があり，教育課程の編成及び実施，並びに指導上の諸問題についての研究協議が行われた。

特別支援教育部会の研究発表＝8月11日，教育学部209講義室

石川県地域留学生交流推進会議

県内の大学，地方公共団体，経済団体，国際交流団体などで構成される石川地域留学生交流推進会議（議長：林学長）が7月6日開催され，27機関の代表者が意見を交換した。会議では，留学生が学業に専念できるような援助体制整備の必要性など現場での切実な意見が出された。

また，留学中の金沢美大の沈考恩さん，石川高専のドアン・クァン・ヴさんが，それぞれ日本で学びたいことを語り，国際交流には「異文化交流」を通して友好関係を形成することが不可欠との思いを訴えた。

国際交流への思いを語る留学生＝金沢市内のホテル

説明する清浦課長
＝事務局大会議室

日本学術振興会事業説明会

7月7日，日本学術振興会の国際事業に係る事業説明会が開催され，本学及び北陸地区大学等学術研究機関から約40名が参加した。

説明会では，同会国際事業部の清浦　隆人物交流課長と小山佐和研究協力第二課交流企画係長から，国際交流事業の動向と展開，フェローシップ，研究者交流事業等の国際学術の推進に関する事業の概要及び現状等について説明があった。

フォーミュラ研総合８位 第２回全日本学生フォーミュラ大会

8月30日から9月2日まで，栃木県のツインリンクもてぎで開かれた第2回学生フォーミュラ大会で，本学フォーミュラ研究会は総合8位となった。大会は，学生が手作りのレーシングカーでプレゼンテーション，車検，デザイン，コスト，加速性能，旋回性能，オートクロス，耐久走行などにより総合性能を競うもので，今年は海外3ヶ国3校を含む28大学が参加した。フォーミュラ研では「初日の状況から上位入賞の期待が高まっていただけに，最終日の耐久走行でタイヤ選択を誤り残念」と話している。

デザイン審査を受けるフォーミュラ研のレーシングカー
＝8月31日，ツインリンクもてぎ

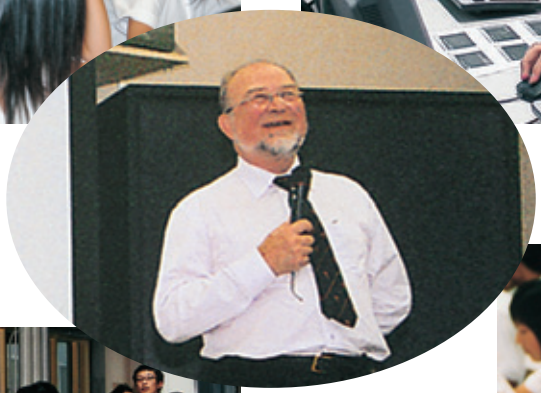
大学へようこそ

昨年を940人上回る参加　オープンキャンパス

これまで1日だけの開催だったオープンキャンパスを，今年は8月6，7日の2日間開催し，参加者は2日間で4078人と，昨年度を940人上回った。薬学部は角間移転後初めて，工学部は2日間のうち1日は角間での開催となった。また，法学部では法科大学院の説明が，医学部医学科では英国シェフィールド大学の教授による国際交流のアピールも行われた。

文学部模擬授業「ドイツ語にチャレンジ」
＝文・法・経済学部L206講義室

工学部模擬授業「三次元CAD演習」
＝自然科学本館総合メディア演習室



医学科　シェフィールド大教授の説明
＝医学部臨床第一講義室

薬学部実験室案内
＝自然科学1号館テクニカルボイド

理学部概要説明
＝総合教育棟B1講義室
※写真：医学科は8月7日，その他は6日

金沢大学フォーミュラ研究会KF2004の展示＝8月7日，工学部

てくてくテクノロジー

8月7，8日の2日間にわたり，工学部で恒例のオープンキャンパス「第5回てくてくテクノロジー」が開かれた。連日最高気温が32度を超える暑さの中，在学生や教職員の家族をはじめ市民ら250人を超える来場者が訪れ，模擬授業や施設見学，説明会・講演会，各学科の研究室見学などが行われた。

親子で大学見学
子ども見学デー・子ども参観日

子どもたちに大学の業務の紹介や職場見学などを通して，大学についての理解を深めてもらおうと，「子ども見学デー・子ども参観日」が8月25日に実施された。当日は11名の小学生とその親が参加し、今春に完成し一部使用が始まった自然科学研究棟や附属図書館，旧制四高時代の資料を集めた資料館など大学内を親子で見学した。参加した子どもたちは「キャンパスが広くて驚いた」「大きくなったらここで勉強したい」と感動した様子だった。

林学長から「大きくなったら金沢大に来てください」と声をかけられる子どもたち＝学長室

「ものづくり教室」のスタッフにインタビューする学生
＝8月24日，工学部

大学生がインターンシップ

社会貢献室では，大学生が地域と交流する社会貢献事業に職員として参加することで職業意識を育んでもらおうと，8月19日からインターンシップを実施した。19日から31日，9月2日から14日の2回に分け，計4名の学生が参加。電話応対などのビジネスマナー研修を受け，大学が主催する社会貢献事業の取材や資料作成，ホームページ作りなどに携った。体験した学生は，「職員として大学に関わることができるいい機会なので，この期間に得られたものを今後の進路選択に役立てたい」と抱負を語った。

中学生・高校生も職場体験

6月から8月にかけて，財務部，文・法・経済学部，教育学部，附属図書館，附属病院，社会貢献室などの各部局で，中学校4校，高校1校から14名の職場体験を受け入れた。このうち，「わく・ワーク体験」として職場体験をした中学生は11名。参加した生徒は皆，大学には様々な仕事があることに驚いた様子だった。

図書の配架を体験する中学生＝6月30日，図書館

資料作成する高校生＝8月16日，社会貢献室

大学へようこそ

サッカーロボットや振り子時計づくりに歓声

子どもたちにものづくりの楽しさを教える「ものづくり教室」が8月24日，工学部秀峯会館を主会場に開かれ，小中学生ら72名が参加した。子どもたちは，指導員のアドバイスでようやく作品が動くようになって大喜びし，ものづくりの楽しさを満喫した。

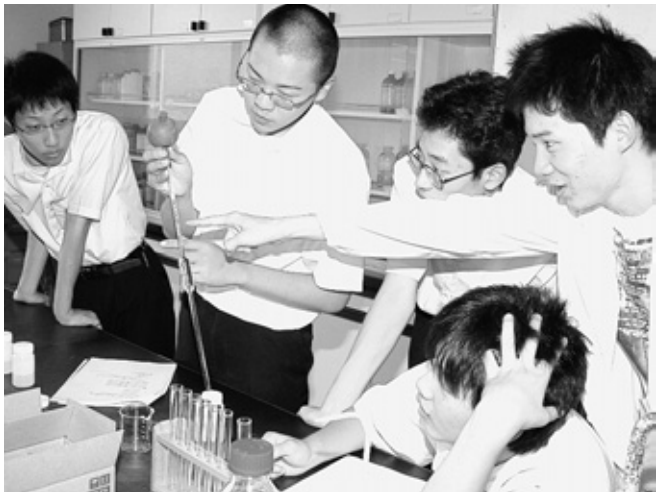
セメントでオブジェを作ろう

振り子時計を作ろう

サッカーロボットを作ろう

七尾高生が理学部で海水分析

文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールに16年度から指定された，県立七尾高校理数科の1年生37名が，7月23日，理学部の実験室で，事前に日本海の数ヶ所で採取した海水の分析実験を行った。生徒は2班に分かれ，化学科では吸引ろ過器を使って不純物を除去した後に海水の化学成分を分析，生物学科では高性能の電子顕微鏡を使って水中の生物の種類と数を分析した。



吸引ろ過器の操作に注目する高校生＝理学部化学科実験室

海外研修の成果を報告

7月23日，職員の海外研修報告会が開かれた。文部科学省国際教育交流担当職員長期研修プログラムで，1年間米国で研修した出口智子係員が，語学研修と留学生交流業務の研修に関して報告。続いて，同省国際研究交流担当職員短期研修プログラムで，2ケ月間豪州で研修した中嶋敦子係員が，豪州の協定校の大学運営や研究マネジメントに関する調査について報告した。

報告する中嶋係員（上）と出口係員（右）
＝事務局大会議室

夏期英語コースを受講する本学学生（左端と右から2番目）ら
＝タフツ大学

タフツ大学夏期英語コースに初めて学生を派遣

日本人学生の国際化を推進しようと，本学では今年初めて大学間交流協定校の米国タフツ大学の夏期英語コースに5名の学部生を派遣した。 英語だけの授業に不安気だった学生たちも徐々に慣れ，それぞれのクラスで熱心に学んでいた。

なお，タフツ大学はこのほど，KAPLAN・ニューズウィーク社出版の『大学入学ガイド2005年版』の「部門別アメリカの大学No.1」特集で，25ある部門のうち「留学（派遣）」部門のトップに選ばれたという。同大からは毎年2～5名の学生が，短期留学プログラムにより本学に留学している。

附属養護学校村田くんの書がベトナム教育訓練省に

ベトナムで開かれた第13回日本ベトナム友好障害児教育・福祉セミナーに参加した養護学校桝蔵千恵子教諭は8月18日，セミナー初日の全体会で，養護学校高等部3年の村田隆弥くんの書「世界平和」をベトナム教育訓練省代表に手渡した。力強く書かれた4文字メッセージがセミナー参加者の感動を呼び，盛大な拍手とともに指導法など多くの質問が寄せられた。

桝蔵教諭はこのほか，協定校ヤーデイン（旧タンマウ）や，すでに23歳の成人となったベトさん・ドクさんを訪問し，日本とベトナムの障害児教育の交流について情報交換した。

教育訓練省代表に書を渡す桝蔵教諭＝ハノイ師範大学

新任部局長・新任監事

医学系研究科長
山本　博
任期：平成16年8月1日
～平成18年3月31日

医学部長
古川　仅
任期：平成16年8月1日
～平成18年3月31日

監事（常勤）
岡本　脩一
任期：平成16年9月1日
～平成18年3月31日

7回目の留学生書道展

留学生書道講座の受講生による書道展が，8月4日から11日までサテライト・プラザで開かれ，中国，タイ，インド，ロシア，アメリカなどからの留学生が半年間学んだ成果を発表した。自分の好きな言葉を感性で書いた書や，漢字やカタカナで名前を彫る篆刻（てんこく）の作品などが展示された。

展示作品を手にする留学生ら
＝角間ゲストハウス

留学生茶器展と課外講座「茶道」発表茶会

6月23日から7月3日まで，本学留学生の茶器展が広坂の石川国際交流サロンで開かれた。この茶器展は，短期留学プログラム授業「日本文化体験」の受講生が陶芸家大樋年雄氏の指導を受け製作した作品を展示したもので，留学生の斬新な感性と率直さが感じられる作品の数々が訪れた人の目を楽しませた。最終日には，松井宗貴氏指導の課外講座で茶道を学ぶ留学生の成果発表茶会も開かれた。

展示された留学生の力作（上），茶会の静かなひと時（右）
＝7月3日，サロン1階和室

日本の技に挑戦

「ふるさと石川もてなしの心」をテーマに県内で開かれた第17回JAPAN TENTに全国から参加した留学生のうち18名が8月4日，本学で「杖道（じょうどう）」を体験した。最初はぎこちなく杖を構えていた留学生も，ビットマン・ハイコ助教授の指導で次第に格好が様になっていた。

杖の構えも様になってきた留学生
＝体育館

やさしい英会話教室

外国語教育研究センターは，平成16年度金沢大学地域貢献推進事業の一環として，8月9日～12日，18日～21日の8日間，「やさしい英会話教室」を開いた。対象は金沢市内の小学校教諭で，初級と中級の両コースで12名が参加した。なお，この教室は11月にも行う予定。

講師と会話練習＝金沢大学サテライト・プラザ講義室

受賞等

人命救助の学生を表彰

人命救助に活躍した工学部2年の深谷健也さんに対し，本学学生の模範となるとして「金沢大学学生の表彰に関する申合せ」に基づき，7月23日鹿野副学長から表彰状を授与した。深谷さんは6月7日，浅野川でおぼれた女性を中学生4名とともに川に入り救助したもので，金沢市消防本部からも消防協力者として表彰された。

表彰状と記念品を授与される深谷さん＝教育担当副学長室

鹿野副学長から決定通知書を受ける学生＝事務局第2会議室

学長研究奨励費14件を採択

3回目となる学長研究奨励費決定通知書の交付式が7月30日行われ，学部生52件の応募から選ばれた14の個人またはグループに鹿野副学長から決定通知書が交付された。採択された研究には，1件あたり20万円から25万円の研究費が補助され，3月25日までに報告書を提出，来年度には報告会が開かれる。

金沢医学館時代の貴重図書が寄贈される

加賀市在住の稲坂 暢氏が，稲坂家に代々伝わる憶松閣（おくしょうかく）文庫から，本学医学部の前身である金沢医学館時代の貴重図書74巻を医学系研究科に寄附し，7月8日同氏に対して林学長から感謝状を贈呈した。寄贈図書の中には，稲坂謙吉氏による蘭医スロイスやホルトルマンの講義録や津田淳三氏による蘭文写本が含まれ，金沢医学館開館当時の講義の様子等を知る上で貴重な資料になるという。

稲坂氏（中央）と本学関係者＝学長室

ナノプローブテクノロジー賞

安藤教授

7月21日，自然科学研究科安藤敏夫教授は，日本学術振興会ナノプローブテクノロジー第167委員会から，ナノプローブテクノロジー賞を受賞した。高速AFMの開発と液中機能動態撮影の業績が評価されたもの。

北陸テレコム懇談会表彰

田子教授

8月4日，自然科学研究科田子精男教授は，北陸テレコム懇談会から，地域の情報通信の普及・発展に貢献したとして表彰された。

本学へのお客さま

8月3日，学術交流に関する意見交換のため来学した，マダガスカル共和国ラディフェラ B．ジョスラン特命全権大使（中央）＝ 学長室
これに先立ち，薬学部長，同副学部長とも意見交換を行った。

8月10日，大学間交流協定校のオーストラリアグリフィス大学応用言語学語学センターで電子メディアを担当するヒルダ・マクレーンさん（中央）。電子掲示板システムについて清水 栄助教授から説明を受けた。
＝自然科学本館

8月6日，特別講演「Uracil DNA Glycohydrolaseの化学」のため来学した，大学間交流協定校の英国シェフィールド大学ジョージ M．ブラックバーン教授（右から2人目）＝ 学長室

新任教員説明会

新たに本学に採用された教員を対象に，本学の現状と課題，目指す方向性等を説明する新任教員説明会が，7月28日と29日に分けて実施され，新任教員74名が出席した。林学長から，本学の基本理念・目標，基本方針等について，各部長から中期計画とそれに向けての重要課題等について説明があった。

大学憲章等について説明する林学長＝7月28日，事務局大会議室

事務局が優勝・準優勝
－職員スポーツ大会（ソフトボール）－

8月28日晴天の下，附属小･中学校グラウンドにおいて，職員スポーツ大会（ソフトボール）が実施された。7部局11チームが参加し，珍プレーやファインプレーが続出する熱戦が繰り広げられた。決勝戦は，施設管理部（事務局A）と事務局Bチームの事務局同士で行われ，事務局Bチームが試合を制した。

結果は，優勝：事務局B，準優勝：施設管理部（事務局A），第3位：附属小学校の（ドッカン！波動砲）と（サブマリンちゃん）となった。

運動不足の体にムチ打って，ハッスルする参加者

出向中の職員と懇談

8月27日，本学から他の国立大学等に出向している職員のうち25名が出席して，「人事交流者との懇談会」が開かれた。

懇談会に出席した他機関へ出向中の職員
＝事務局大会議室

大学開放

ミニ講演　心をふるわす感動の言葉を味わいましょう

○月　日：7月3日
○講　師：染井 正徳 自然科学研究科教授
○場　所：金沢大学サテライト・プラザ講義室
○テレビ会議システムによる「金沢大学遠隔講座」
　受信会場：寺井町立図書館
○来場者：51名

ミニ講演　遺伝子の傷と発がんーがんは予防できるか？ー

○月　日：8月28日
○講　師：松永 司 自然科学研究科教授
○場　所：金沢大学サテライト・プラザ講義室
○テレビ会議システムによる「金沢大学遠隔講座」
　受信会場：寺井町立図書館
○来場者：51名

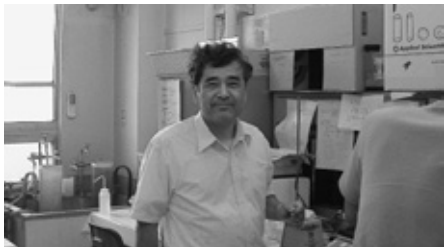
公　開　講　座

金沢の伝統文化と茶道
主任講師：加納重義自然科学研究科教授
＝7月10日，工学部秀峯会館

コードネームを使った簡単なピアノ伴奏講座　初級コース
主任講師：篠原秀夫教育学部教授
＝7月10日，教育学部芸術棟音楽ホール

幼児教育の現場から考える子育て学
主任講師：大久保英哲教育学部教授
＝7月17日，金沢市教育プラザ富樫

ミツバチの不思議と趣味の養蜂
主任講師：山田敏郎自然科学研究科教授
＝7月24日，工学部秀峯会館



脳細胞遺伝子学講座
主任講師：東田陽博医学系研究科教授
＝8月19日，医学部研究室

脳の世界への招待状ー画像診断技術の最前線ー
主任講師：川井恵一医学部教授
＝8月28日，医学部保健学科

社会教育主事講習

7月20日～8月20日，
受講者44名

開講式での学長あいさつ
＝7月20日，大学教育開放
　センター講義室

学校図書館司書教諭講習

8月10日～26日，
受講者90名

学校図書館メディアの構成
についての講習
＝8月16日，
　教育学部401講義室

角間の里山で昆虫採集！

7月10日と24日の2日間，角間の里山で昆虫採集会が開かれた。キタダンでは，池の周りでトンボを追いかけ，池の中で小さなゲンゴロウの仲間を捕まえた。雑木林の遊歩道では，カブトムシやクワガタを捕まえた。この昆虫採集会に参加した子どもたちは，夏休みに里山や家の周りで昆虫調べに取り組んだことだろう。

子どもたちは，里山メイトからトンボの種類や雌雄の見分け方について習った

角間の里山に学ぶ

総合科目「里山に学ぶ共生」が，8月9日から11日まで角間里山で開講した。授業では，里山メイトが学生と里山を歩き，メイトの活動を解説した。夜の座談会では「里山の保全」，「里山と子ども」，「里山と環境教育」などのテーマでお互いに意見を交換した。メイトの熱のこもった言葉に，どの学生も真剣に耳を傾け，疑問をぶつけていた。「これまでキャンパスの山なんて気にもとめてなかった」学生がほとんどだったが，この交流を通じて彼らも角間の里山をみつけたようだ。

里山メイトと意見交換＝8月9日，角間ゲストハウス

病院で「サマーコンサートin2004」

医学部附属病院は8月19日，入院中の患者のためにサマーコンサートを開いた。音楽ものがたり「スイミー」，フルートとのひととき，楽しいジャグリング及び夏を歌うの4部構成。「みんなで歌おう」では，会場を埋めた100名を超える患者と家族，看護師が一緒に歌い，大いに盛り上がった。

金大JMCによるジャグリングを楽しむ患者ら
＝附属病院合同カンファレンス室

編集後記

記録的な猛暑が続いた今年の夏も，ようやく秋にバトンを渡す気になったのか，風に涼しさが感じられる今日この頃です。暑さで弱った体も，ゆっくりと力を取り戻しつつあるのではないでしょうか。

さて，その暑い夏にお休みをいただいたアカンサスニュース，元気があり余っているのか，今月はページを増やして発刊されることになりました。

秋は夜長。全16ページに散りばめられた，金沢大学の“夏”をゆっくりとご堪能下さい。(Y.T)

平成16年９月17日発行
（原則として毎月１回第３週に発行）
〒920-1192　金沢市角間町
編集　金沢大学広報室
TEL　076-264-5024
FAX　076-234-4015
◆本紙の内容，その他の本学に関する諸情報については，「金沢大学ホームページ」〈愛称“KUPIS”（キューピーズ）〉（アドレス＝http://www.kanazawa-u.ac.jp）でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは，電子メール（E-mail）＝general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp　でも受け付けています。